

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年1月31日

事業所名 アスラボはるえ

保護者等数（児童数）30名 回収数 26名 割合 86.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	2		よく分からないです	活動を行うために適切なスペースは確保している。保護者様への周知が必要。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1		適正数、1時間に何人の利用者が居るのかわからない	職員の専門性を考慮し、適正人数を配置している。保護者様への周知が必要。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	4			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	2		本人の状況に沿った支援を考えてくださいます。	必要な時期に必要な見直しができるよう平素より保護者様との話し合いを大切に、適切な計画が作成できるよう留意する。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	23	3			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	16	7	他施設との交流はないように思います	どのような交流が可能か検討していく。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26				

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26			状況をわかりやすくしっかり伝えてくださいます。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	2			保護者様が面談や相談をより身近なものと認識していただけるよう職員が留意し、環境作りに努めることが必要。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	16	8	保護者同士の交流の機会はありません	今後父母会の開催を検討している。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	8	1		苦情・要望の受付窓口を設置、重要事項説明書に記載し、契約時に保護者様に説明を徹底していく。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	3	1		ホームページやHUGマイページ、お便りなどで、活動の様子や行事予定の報告をしている。発信の仕方を今後も考えていく。
	14	個人情報に十分注意しているか	26				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	2	1		各種マニュアルを作成、玄関に設置している。保護者様への周知が必要。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	6	1		今年度非常災害を想定した訓練を2回実施。訓練後は活動記録にて保護者様へ報告をしている。今後実施前、実施後の周知・説明の方法、また当日参加できなかった利用者様に対する訓練の方法を検討する必要がある。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	22	4			とても楽しんでいるので、ありがたく思っています。
	18	事業所の支援に満足しているか	24	2			いつもありがとうございます。 親でも聞けない事など、子供の話を聞いていただけて助かっています。思春期に入り秘密事も多くなり、親が言っても聞かないときも増えてきています。そんな時でもアスラボでは「今日こんなことがあった！」「嫌なことがあった」など家では話さないことを言えて良かったとおもいます。 送迎時やメール、面談の機会を通して保護者様から話をお聞きし、ニーズの把握に努める。 また支援の質の確保・向上に向け、職員個人の能力・意欲の向上が図れる体制を構築していくことが必要。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。